



株式会社 モスフードサービス

証券コード：8153

モスの 株主通信

第50期 報告書


2021年4月1日～2022年3月31日



社長メッセージ


新たな中期経営計画
「Challenge & Support」が始動。
アフターコロナを見据え、
地域に愛されるお店づくりを目指します。

代表取締役社長 中村栄輔

TJ
10 なりもす 
成 増 なります Narimasu

50
th
ANNIVERSARY!

(東京都板橋区)

しもあかつか 下赤塚 
Shimo-akatsuka



2021年度の経営成績について
お聞かせください。



新型コロナウイルス感染症の猛威は未だ衰えず、2020年度に続いて厳しい事業環境となりました。加えて、原材料費の高騰も、外食産業にとっては大きな逆風となりました。

このような環境の中で当社グループは、テイクアウトやデリバリーの強化など、コロナ禍で激動

する外部環境への対応に全力を注ぎつつ、2019年度から取り組んできた中期経営計画の施策の推進に取り組みました。その結果、2021年度の連結経営成績は、売上高が784億47百万円（前期比9.0%増）、営業利益は34億73百万円（前期比144.2%増）となりました。

国内モスバーガー事業では、既存店売上高が2021年10月まで27カ月連続で前年を上回り、その後も好調に推移しました。コロナ禍の厳しい状

況だからこそ、「お客様や地域社会と深く結びつき、真心をこめたサービスを提供することを通じて社会に貢献しよう」という当社グループの理念の実践に徹底的に取り組んだことが、お客様に支持され、この結果に結びついたと捉えています。海外では、台湾やシンガポールなどで順調に出店が進み、2021年12月末時点で450店舗となり、昨年末から37店舗増加し、出店目標を達成することができました。



2021年度の取り組みと その成果についてお聞かせください。



国内モスバーガー事業では、アフターコロナを見据え、「外食でなければ得られない魅力を提供できる店舗づくり」が重要になると考え、カフェメニューやデザートを豊富に揃えた「モスバーガー&カフェ」の展開を加速し、3月末時点で50店舗となりました。今後も既存店の転換や新規出店により、店舗数を増やしていく方針です。一方で、コロナ禍を機に増加したテイクアウトの利用もある程度定着したと見ており、テイクアウト専門店や座席数を抑えた小型店舗、移動可能な「キッチンカー MOS50 (モスフィフティ)」など様々な業態の店舗を出店し、多店舗展開に向けた検証を行っています。このほか、ドライブスルー店舗における商品提供時間のさらなる短縮や、時間が経ってもできたてのおいしさを味わっていただけるような商品の開発にも努めました。デジタル施策の強化として、SNSなどを活用した販売促

進・集客にも注力しました。

海外事業は現在、アジアを中心に9つの国と地域で展開しており、ベトナムでの出店準備も進めています。海外ではデリバリー・テイクアウト専門店、完全非接触型店舗などの先進的な取り組みを積極的に行い、効果のあった事例を日本に導入するというテストマーケティングの場にもなっています。モスバーガー以外の新業態にも取り組んでおり、香港で昨年9月にオープンしたモスバーガーとの複合店舗であるパスタ専門店「モスクッチーナ」は、計画を大幅に上回るスタートとなりました。

その他飲食事業では、テイクアウトや物販の強化など、様々な取り組みを通じて収益力の強化や新たな需要の発掘に努めました。また、新たなビジネス領域への挑戦として、モスブランドを活用した新事業展開にも取り組んでおり、他業種企業とのコラボレーションによって誕生したユニークな商品・グッズが好評を博しました。



新中期経営計画と2022年度の 事業計画についてお聞かせください。



当社グループはこのほど、2022年度を初年度とする3ヶ年の中期経営計画を策定しました。計画のスローガンは『Challenge & Support』で、2024年度に連結売上高1,000億円を達成することなどを目指します。

前回（2019～2021年度）の中期経営計画では、コロナ禍に大きく影響を受けたこともあり、国内外での新規出店を抑制せざるを得ないなど

■ 2022-24年度中期経営計画

中長期ビジョン	「心のやすらぎ」「ほのぼのとした暖かさ」をお届け、 世界が注目する外食のアジアオンリーワン企業へ
中期スローガン	Challenge & Support

連結財務数値

単位:億円

	2019-2021年度 中期経営計画 Nothing is impossible			2022-2024年度 中期経営計画 Challenge & Support	
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 業績予想	2024年度 中期経営目標
売上高	689	719	784	850	1,000
営業利益	10	14	34	33	50
当期純利益	3	9	34	20	35
営業利益率	1.5%	2.0%	4.4%	3.9%	5.0%
ROE	0.8%	2.2%	7.3%	4.1%	6.6%

我慢の期間となりました。そのような厳しい環境下でも、予定していた施策の多くに前倒しで取り組むことで、主力の国内モスバーガー事業では既存店売上高を確保しつつ、収益性も高めることができました。

新計画では、積極出店に転じる考えで、年間、50店舗規模の出店を目指します。単に出店数を追うのではなく、コロナ禍でその大切さを再認識した「地域に愛されるお店づくり」を重視したいと考えています。

計画初年度となる2022年度の連結経営成績については、売上高850億円（前期比8.4%増）、営業利益は33億円（前期比5.0%減）と予想しています。創業50周年を機に、新たなコーポレートロゴやキャラクターを導入いたしました。2022年度は次の50年に向けたスタートの年と位置付け、大きく飛躍したいと考えています。



株主の皆様への
メッセージをお願いします。



おかげさまで当社は今年、創業50周年を迎えました。東京・板橋区の2.8坪の小さな店舗からスタートしたモスバーガーが、国内に約1,250店舗、海外に約450店舗を展開するまでに成長できたのは、お客様や地域の方々、株主の皆様からいただいた温かいご支援のおかげです。これからは100年企業を目指し、「お店をもっと近くに・もっと愛されるお店に」をテーマに、さらに地域に根差した店舗づくりを進めてまいります。株主の皆様には引き続き当社の事業活動に対するご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



モスグループのサステナビリティ

モスグループでは、創業当時より環境や健康、地域社会などに配慮した事業運営に力を注いできました。今後も事業を通じた新たな価値創造に取り組んでいくことで、サステナブルな企業であり続けたいと考えています。

モスバーガー原宿表参道店オープン

障がいのある方のアートを店舗内装デザインに使用

2021年12月、当チェーンの取り組みを表現するフラッグシップ店舗として「モスバーガー原宿表参道店」がオープンしました。店舗の内装には、障がいのある方々の作品をデザインとして採用し、アートギャラリーのような空間を演出しています。多くの方々にアート作品に触れていただく機会を創出することで、障がいのある方と社会との繋がりを生み出す架橋になることを目指します。



内装デザインの作品例



モスバーガー原宿表参道店 内観



高齢者や障がいのある方への接客時の適切なサポートを目指して、店舗スタッフが「ユニバーサルマナー検定」3級を取得

ユニバーサルマナー検定は、高齢者や障がいのある方、ベビーカー利用者、外国人など多様な方々への接客時の適切なサポートを学習するものです。今回、当店の社員をはじめとした店舗勤務の社員を対象に、高齢者や障がいのある方への基本的な向き合い方やお声かけ方法を学ぶ同検定3級eラーニングを導入し、資格を取得しています。

社会活動を発信する「モスの森」を公開

「モスの森」という名称は、一つひとつの小さな社会活動がまるで木の実のように芽を出し、それらが集まることでやがて多様性のある大きな森に育っていくことをイメージして名づけました。環境、フードダイバーシティ、食育など10のカテゴリを設け、それぞれの活動を記事コンテンツとして月2回程度更新しています。



<https://www.mos.jp/mori/>

アスリートのセカンドキャリアを支援 「アスリート経営者 育成プロジェクト」を開始

かねてよりスムーズな事業承継による加盟店オーナーの若返りを進める中、新しい加盟店オーナーを募集する一環として、アスリートのセカンドキャリアに着目しました。本プロジェクトでは、独立・開業を前提に引退後のアスリートを採用し、入社後1年を目途に加盟店オーナーとして育成・輩出していきます。



創業50周年記念

ハンバーガーがくれた多くの出会いに感謝し、 次の50年を見据え、新たに進み続けていきます。

モス50年のあゆみ

1972

- ・東武東上線成増駅の近くの成増名店街地下ジューススタンド跡に実験店オープン
- ・「モスバーガー」発売
- ・2.8坪の八百屋倉庫を改装し、モスバーガー1号店「成増店」(東京都)をオープン



1973

- ・「テリヤキバーガー」新発売
フランチャイズチェーンで日本初
- ・フランチャイズ1号店「新瑞店」(愛知県)をオープン

1979

- ・店頭募金箱「愛のモスボックス」のきっかけとなる「愛のモスポトル」が「白楽店」(神奈川県)でスタート
- ・100店舗目「小豆島店」(香川県)をオープン※1

1984

- ・「テリヤキチキンバーガー」新発売

1986

- ・初のドライブスルー店「牧港店」(沖縄県)をオープン※1
- ・外食産業において初めて全国47都道府県への出店達成
- ・500店舗目「宇都宮鶴田店」(栃木県)をオープン※1

1987

- ・「モスライスバーガーつくね」新発売※2



1989

- ・「ロースカツバーガー」新発売

1990

- ・「モスライスバーガー焼肉」新発売

1991

- ・台湾1号店オープン、海外出店を本格展開
- ・1,000店舗目「江古田旭丘店」(東京都)をオープン※1
- ・ハラペーニョをトッピングした「スパイシーモスバーガー」などを新発売

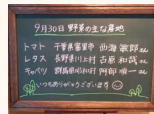
1992

- ・米粉入りの衣と、醤油風味の味付け「モスチキン」新発売



1997

- ・「モスの生野菜」などを全店導入(新価値宣言)、野菜掲示板導入開始
- ・「フレッシュバーガー」(現:モス野菜バーガー)新発売
- ・「藤野パーキングエリア店」(神奈川県)をオープン
ファーストフード、高速道路内単独初出店



1999

- ・紅茶の店「MOTHER LEAF (マザーリーフ)」1号店オープン
- ・四季の旬菜料理「AEN (あえん)」1号店オープン 店名は亜鉛に由来

2000

- ・「海老カツバーガー」新発売

2002

- ・アレルギー体質にも配慮した「モスキッズメニュー」発売開始

2003

- ・徹底した味と品質へのこだわり「ニッポンのバーガー匠味(たくみ)」新発売※2



創業50周年を記念した様々な取り組み

モスバーガー1号店の成増店をリニューアルオープン 店舗限定の記念商品「なりもす・ダブルバーガー」を販売

モスバーガー1号店の成増店をリニューアルしました。地名にちなんで同店を「モスバーガー なりもす店」という愛称で呼び、3月8日～4月3日の期間では、創業当時のメニュー「モス・ダブルバーガー」を現代風にアレンジした記念商品「なりもす・ダブルバーガー」を同店限定で販売しました。



50周年記念商品
「なりもす・ダブルバーガー」

「成増駅」を「なりもす駅」に名称変更し、 東武東上線「モス号」を運行

3月8日～4月3日の期間、モスバーガー1号店がある東武東上線「成増駅」の駅名看板が「なりもす駅」になりました。また、モスオリジナルヘッドマークをつけた東武東上線「モス号」が、「なりもす駅」を含む池袋から小川町駅間を運行するなど、誕生の地、成増への感謝の気持ちを表現し、地域活性化を図りました。



「なりもす駅」



オリジナルヘッドマークをつけた車両

当社は今年で創業50周年を迎えました。記念サイトの開設や、お客様をはじめ、地域の方々、すべての関係者の方々へ感謝の気持ちを込め、様々なイベントを開催しました。

創業50周年記念サイト <https://www.mos.jp/oc/50th/index.html>



2004

- ・レタスで挟んだ新感覚のハンバーガー「モスの菜摘 (なつみ)」シリーズ新発売

2005

- ・アレルギー・主要原産地情報を店頭でレシート用紙に印字して提供開始
- ・子どもたちに食の大切さを伝える「モスの食育プログラム」開始

2006

- ・株式会社サングレイスを設立しモスファーム事業を開始
- ・「キッズニア東京(KidZania Tokyo)」に「ハンバーガーショップ」のパビリオンを出展



2008

- ・国産肉100% (牛・豚の合挽き) を使用したハンバーグ「とびきりハンバーグサンド」新発売

2009

- ・お子さま向け新セットメニュー「モスワイワイセット」新発売

2010

- ・ミスタードーナツとのコラボショップ「MOSDOイオンモール広島府中店」(広島県) をオープン

MOSDO!

2011

- ・日本航空国際線エコノミークラス機内食「AIR MOS BURGER(エアモスバーガー)」提供

2012

- ・チャージ型プリペイドカード「モスカード」導入



2015

- ・肉の代わりに、大豆由来の植物性たんぱくを使ったハンバーガー、ソイパティシリーズを新発売
- ・「モスのネット注文」導入
- ・ミラノ万博の日本館レストランコーナーにモスバーガーを出店



2016

- ・「和風ドレッシング」を従来品より25%減塩したタイプに変更
- ・パスタ専門店「ミアクッチーナ」1号店オープン
- ・店舗を通じて障がい者アートに親しむ「MOSごと美術館」スタート、新潟県の店舗でアート展を開催

2017

- ・毎月29日(にくの日)限定「にくにくにくバーガー」新発売
- ・国内モスバーガー店舗が「エコマーク飲食店」に認定



2018

- ・金曜日限定のモスフライデー企画「ごちそうチリバーガー」新発売

2019

- ・「フルセルフレジ」の導入を開始

2020

- ・「MOS PLANT-BASED GREEN BURGER (グリーンバーガー)」新発売
- ・オリイ研究所と協力し、分身ロボット「OriHime (オリヒメ) ※3」によるリモート接客の実証実験をスタート
- ・Withコロナにも対応、非接触型サービスのテイクアウト専門店「ヨークフーズ新宿富久店」(東京都) をオープン
- ・日本の銘酒「獺祭」と初コラボ「まげるシェイク獺祭-DASSAI」を期間限定で発売

2021

- ・「バターなんていらなくても、と思わず声に出したくなるほど濃厚な食パン」を地域・店舗限定で発売
- ・障がい者アートを店舗内装デザインに使用した「原宿表参道店」(東京都) をオープン

2022

- ・モスバーガー創業50周年

※1 現在は閉店しています。 ※2 現在は販売を終了しています。 ※3 「OriHime」は株式会社オリイ研究所の登録商標です。

モスバーガー1号店の地元・板橋区の皆様へ御恩返し

“モスの食育プログラム”で使用している副教材『考えよう! 食べるということ』を区内全小学校へ進呈。またモスバーガー1号店がある商店街「なりますスキップ村」の街灯下に、50周年記念オリジナルフラッグ約60本を掲出しました。



新コーポレートマークと新コーポレートキャラクターのご紹介

創業50周年を機に、新たなコーポレートマークとコーポレートキャラクターを導入しました。新コーポレートマークは「山のシルエット」「海の滴(しずく)」「太陽の赤」と自然との調和をイメージし、社名のMOS (モス) に込められた企業アイデンティティ「山・海・太陽」を表しています。新コーポレートキャラクターは「リルモス (LilMos=小さなモス)」という愛称で、創業当時のキャラクター「モス坊や」のイメージを受け継いでいます。「リルモス」がもつ愛らしいイメージで、お客様のそばに寄り添うお店づくりを進めていきます。



LilMos © 2022 MFS, INC.

国内モスバーガー事業の取り組み



現在販売中のメニュー情報はモスバーガー公式サイトをぜひご覧ください。

日本で生まれ、日本で育ってきたハンバーガーチェーンであるモスバーガーではこれまで“MOS JAPAN PRIDE”をコンセプトに、オリジナリティのある商品を展開してきました。2022年1月より期間限定販売した“和風とり竜田（たつた）揚げ”のハンバーガーをご紹介します。とり竜田揚げのハンバーガーを発売するのは今回が初めてとなりました。また同時に定番商品「チキンバーガー」もリニューアルしました。

鶏肉のジューシーさを
味わえる和風味のバーガー！

「とり竜田バーガー」

国産鶏のむね肉を使用したとり竜田に、甘みと酸味のバランス良い醤油ベースのソースを合わせました。お客様のお好みに合わせて酸味を調整していただけるよう、“くし切りのレモン”を添えています。お子様からお年寄りまで幅広い世代のお客様にお楽しみいただけるハンバーガーです。

期間限定
販売



※現在は販売を終了しています。

野菜の甘みとハーブやスパイスの
風味を生かした新オーロラソース

「チキンバーガー」

1982年に初登場した人気商品です。国産鶏のむね肉を使用したチキンフライにたっぷりの千切りキャベツをのせ、その上にモスオリジナルのオーロラソースをかけています。今回のリニューアルでは、オーロラソースの材料を見直し、より多くの方に親しみやすい味わいに仕上げました。

定番
リニューアル



※定番商品として販売中です。

ニューノーマルの需要に合わせた新業態

「キッチンカー MOS50」稼働

新型コロナウイルス感染症の拡大でテイクアウト需要が高まっています。当チェーンでは、テイクアウト専門店を2020年からオープンするなど対応を強化してきました。このような中2022年1月にキッチンカーを導入し、「キッチンカー MOS50」の一号車が営業開始しました。テイクアウト専門業態としてよりフレキシブルな展開が可能なキッチンカーの導入により、お客様にとってさらに便利な業態として定着させていきます。



キッチンカー限定メニューを販売

海外事業の取り組み

日本生まれのブランド力を活かした取り組みが奏功し、順調に店舗数が伸びています。最近では、台湾や香港、シンガポールで銘酒「獺祭」を使用したライスバーガーを販売、香港では日本で展開しているパスタ専門店「ミアクッチーナ」のノウハウを活用した「モスクッチーナ」をオープン、さらに香港及びシンガポールでは、日本の四季を感じられる企画『MOS ジャパンフェス』を開催しました。今後も各国の環境変化に合わせて出店を進めていく計画です。



香港で「MOS CUCINA (モスクッチーナ)」オープン



「獺祭」コラゴ商品の販売



『MOS ジャパンフェス』ポスター

※現在は販売を終了している場合がございます。

モスブランドを活用した事業展開

モスブランドを活用した他企業とのコラボレーションにより、モス店舗はもとより小売市場でもオリジナル商品を販売し、新たな顧客のニーズを創出しています。オイシックス・ラ・大地や味源、味覚糖、山崎製パンとのコラボは好評につき、それぞれ第2弾の商品を展開。また国分グループ本社とは、アウトドアでも楽しめる「K&K「CAN」Pの達人」シリーズ「グリーンバーガーソイパティ」2種を販売しました。今後もモスを身近に感じていただけるよう、自宅でも楽しめる商品販売を強化していきます。



オイシックス・ラ・大地
「モスライスバーガー焼肉 (Oisixバージョン)」※1



味源
「モスバーガーポテト (テリヤキチーズ風味)」※2



国分グループ本社
「K&K「CAN」Pの達人
グリーンバーガーソイパティ」※2



山崎製パン
「ランチパック (テリヤキハンバーグと
クラムチャウダー風)」※3



山崎製パン
「モスバーガーと
ヤマザキパンで
じっくり考えた
濃厚なチョコ食パン」※2

※1 現在は販売を終了しています。※2 店舗により販売状況が異なる場合がございます。※3 全国のスーパー、コンビニエンスストア等での販売です。(店舗により販売状況が異なる場合がございます)

MOSの一年

2021年度の販売商品や取り組みについてご紹介いたします。

2021年4月

- 「ひんやりドルチェ 苺ショコラ」発売^{※1}
- 「2021年度淡路島産たまねぎ祭り」を開催^{※1}

2021年7月

- 「道みんの日」に合わせ北海道内限定企画を実施
「くだもの野菜」を無料進呈^{※1}
- 埼玉県初出店から45周年記念
「まぜるシェイク 埼玉県産いちご」発売^{※1}

2021年10月

食べやすさで選べば、モスチキン!
クリスマス向け
「モスチキンチケット」
販売開始^{※1}



「ひんやりドルチェ ベイクドチーズ」
全国の生活協同組合(生協)
宅配向けに販売



[※]各生協により、販売状況は異なります。

4月



5月



6月



7月



8月



9月



10月

2021年5月

- 「ひんやりドルチェ カップ 木いちご」
- 「まるごと!レモンのジンジャーエール with 甘夏ソース」発売
- 「海老カツ オマールソース」発売^{※1}

2021年9月

- モスワイワイセットに「ビスケ&うさぎ」「ねーねーねこ」が初登場!
「カナヘイの小動物」コラボおもちゃ^{※1}
- 「まぜるシェイク 宮城県産いちご」売上の一部を
東日本大震災被災3県の団体へ寄付^{※1}

2021年11月 冬の季節におすすめのあったかメニュー

「塩キャラメルラテ
(クリスマス島の塩[®]使用)^{※1}

クリスマス島の塩[®]は、北海道産のバターと練乳を使用したキャラメルソースとも相性が良く、まろやかな甘みを引き立てます。



「トマトチキンチャウダー」^{※1}

トマトの風味と濃縮乳、クリームなどのコク深いスープベースに、玉ねぎ、にんじん、鶏肉が入ったやさしい味わいのスープです。



毎回ご好評!モスのコラボ企画

2021年11月

「リラックマ」コラボおもちゃ[★]^{※1}



ばんそうこう マグネットボード ラケットセット ちよきんばこ

©2022 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

[★]印の商品は、お子様向けセットや低アレルギーメニューのセットのおもちゃとして提供しました。

2021年11月

「リラックマセット」^{※1}

「リラックマ」と「コリラックマ&チャイロイコグマ」がデザインされたマグカップと、ポテト S、ドリンクがセットになり、好きなハンバーガーと一緒に購入できる商品です。



オリジナルマグカップ

2021年12月

「2022 モス福袋」^{※1}

「リラックマ」とコラボした「ふわふわトートバッグ」「ブランケット」「パスケース」「メモ帳」そしてお食事補助券3,000円相当が入った、かわいいだけでなくお得なセットです。



ブランケット

^{※1} 現在は販売・企画を終了しています。(注釈のない商品・企画についても、販売状況が変わる場合がございます)

2021年12月

人気商品が
数量限定で復活!
「まぜるシェイク
瀬祭(だっさい)-DASSAI-」※1



2022年1月

大人気の「ピスタチオ」が
シェイクになって登場!
「まぜるシェイク ピスタチオ」※1

ピスタチオはローズトしたものを使用し、バニラシェイクの味わいに負けない香ばしい風味を引き出しています。



2022年2月

「モスのレーズンシェイク
鎌倉小川軒監修」
東京都、神奈川県の
地域・数量
限定で発売※1



2022年3月

レトロなデザインの
「モスのミニノート」をプレゼント※1

1972年に初めてモスバーガー店舗(実験店)がオープンした3月12日を「モスの日」に制定し、毎年「モスの日」にプレゼントを実施しています。今年は50周年にちなんでレトロなデザインに仕上げた「モスのミニノート」をご用意しました。



11月



12月



1月



2月



3月

2021年11月

『とびきり』シリーズ最新作
「とびきり とろったま スキヤキ仕立て」※1

ボリューム満点のハンバーグに牛肉や長ねぎなどの具材を合わせ、「肉×肉」の食べ応えあるハンバーガーに仕上げました。



2022年3月

「バターなんていらなくても、と思わず
声に出したくなるほど濃厚な食パンで
作った『フレンチトースト』」

通常より多めの牛乳を配合し、加糖卵黄を入れてコクを出したフレンチ液に漬けて焼成しました。冷凍でも購入可能で温めて手軽にフレンチトーストをお楽しみいただけます。

※9月中旬までの販売予定です。



「クリームチーズテリヤキバーガー」※1

リクエストにお応えして、期間限定で復活販売しました。味噌と醤油をベースにした和風のテリヤキソースと、洋風のクリームチーズの絶妙な組み合わせが楽しめるハンバーガーです。



50周年記念コラボも実施! ~ダブル・アニバーサリー・イヤー~

2022年3月

『星のカービィ』
コラボおもちゃ※1



ダーツゲーム

キラキラシール

©Nintendo / HAL Laboratory, Inc.

2022年3月

『星のカービィ』30周年
『星のカービィ プレートセット』※1

今年が『星のカービィ』30周年、当社が50周年であることから「30th」「50th」のアイコンをあしらったオリジナルプレートを、モスチキン・ドリンクとセットにしてご提供しました。



オリジナルプレート

©Nintendo / HAL Laboratory, Inc.

2022年3月

オカダ・カズチカ選手監修
「きんにくにくバーガー」

同じく創立50周年を迎えた新日本プロレスとタッグを組み、「レインメーカー」ことオカダ・カズチカ選手の監修「きんにくにくバーガー」が、2022年3月29日より、「肉の日」限定での新発売となりました。



株主インフォメーション

株主優待制度

所有株式数に応じて、全国のモスグループ店舗*及びミスタードーナツ店舗（一部店舗除く）で利用できる株主優待券を、年2回ご提供しています。

*モスグループ店舗:モスバーガー、モスプレミアム、モスド、マザーリース、カフェ 山と海と太陽、ミアクッチーナ、あえん、シェフズバイ など。

※株主優待券は、モスカードのMOSポイントに交換することができます。

発行月 6月、11月（予定）

対象基準 単元株（100株）以上の株式を所有している方が対象となります。6月発行分は、3月末日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。11月発行分は、9月末日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。

優待内容 100株以上300株未満
年間2,000円分（500円×2枚を年2回）
300株以上500株未満
年間6,000円分（500円×6枚を年2回）
500株以上1,000株未満
年間10,000円分（500円×10枚を年2回）
1,000株以上
年間20,000円分（500円×20枚を年2回）

有効期限 6月発行分 翌年3月末日まで
11月発行分 翌年9月末日まで

株式についてのご案内

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金基準日 3月31日

中間配当金基準日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人、
特別口座口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場金融商品取引所 東京証券取引所

公告方法 電子公告による

公告掲載URL

<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/8153/8153.html>

（ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告します。）

オンラインでの 「株主さま懇談会」を開催



2022年1月28日、当社では初の試みとなるオンラインでの「株主さま懇談会」を開催し、計86名の株主様にご参加いただきました（同日2回開催）。各回とも、前半は中村社長からのご挨拶・事業報告、ならびに社長室内の紹介をYouTubeで視聴いただき、後半はWeb会議サービス「Zoom」にて当社役員と株主様との懇談会を実施しました。懇談会でいただきました株主様からの貴重なご意見・お声を、今後の事業運営に活かしてまいります。

新市場区分 「プライム市場」への移行

2022年4月4日より当社は、東京証券取引所の新市場区分において「プライム市場」へ移行いたしました。「グローバルな投資家との建設的な対話を中心に据えた企業向けの市場」に相応しい企業であり続けるよう、当社はこれからも一層の企業価値向上に努めてまいります。



この冊子の印刷には、グリーン電力を一部使用しています。